



## 創立 70 周年を迎えて

芦別商工会議所  
会 頭 坂 田 憲 正

芦別商工会議所は、昭和 27 年 3 月に設立認可されてから、本年で創立 70 周年を迎えました。今日の基盤を築いていただいた先輩各位のご努力を称え感謝申し上げますとともに、商工会議所の運営や事業活動に対しご指導、ご協力いただいております国、北海道、芦別市並びに関係機関、団体、会員各位に厚く御礼申し上げます。

今日、私たちを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大による影響の長期化で厳しさが増していることに加え、ロシアによるウクライナ侵攻がもたらした世界経済への影響が深刻化するなか、将来を展望することは困難な状況となっております。

しかしながら、この 70 年の間には、オイルショック、バブル崩壊、リーマンショック、そして東日本大震災をはじめとする様々な災害など幾多の困難を経験し、私達はそれを乗り越えて参りました。一段と環境の変化が激しい今こそ、会員事業所それぞれが、自社のあるべき姿や今後の進むべき方向を見極める好機へと変えていく必要があると考えております。

会員事業所におかれましては、新たなビジネスモデルの構築や働き方改革、さらにはデジタルトランスフォーメーションなどへの取り組みを加速させ、国、道、市の関連支援策を賢く活用しつつ、自助努力をもってこの厳しいコロナ禍を乗り切らなければならないと考えているところです。

7 月 23 日に挙行いたしました記念式典の際には、芦別市長 荻原 貢様、芦別市議会議長 田森良隆様にご臨席とご祝辞を賜りましたほか、北海道知事様、北海道経済産業局長様、日本商工会議所会頭様、北海道商工会議所連合会会頭様、地元選出の衆議院議員様、北海道議会議員様をはじめ、多くの皆様から祝電・メッセージを賜りましたこと、重ねて厚くお礼申し上げます。

また、当日は大変お忙しい中、芦別市出身で元北海道開発局長の倉内公嘉様に記念講演をしていただき大変感謝しております。

当商工会議所といたしましては、今後も偉大な先人の足跡を偲びつつ、会員の声に心を寄せ、関係機関団体と一層連携し、課せられた責務の重大さに思いを新たに、なお一層努力してまいりますので、引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



## 芦別商工会議所 創立 70 周年を記念して

芦別市長  
荻 原 貢

この度、芦別商工会議所が創立 70 周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げますとともに、日頃から本市中小企業の振興をはじめ、本市経済の活性化にご尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

また、今日まで貴会議所の礎を築かれた歴代会頭並びに役職員の方々、坂田会頭様をはじめとする、役員、議員並びに事務局職員の皆様のご尽力とご労苦に対し、深く敬意を表するところであります。

貴会議所は、戦後の混乱が冷めやらぬ中、地元の経済関係者の並々ならぬご努力により、本市の市制施行に 1 年先じられた、昭和 27 年 3 月に認可を受け創立されて以降、高度経済成長からオイルショック、バブル経済とその崩壊、東日本大震災やリーマンショックなど、幾多の日本経済における転換期を経て、さらに近年では、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によりあらゆる経済分野が打撃を受け、本市経済も厳しい環境に置かれている中、市内唯一の総合経済団体として、常に商工業者の指導育成のための活動を続けられ、また、地域経済活性化のための課題解決、克服に向け、北海道立林業大学校の誘致や一般国道 452 号及び道道芦別美瑛線の整備促進に向けた要望活動のほか、地域限定商品券の発行や各種支援制度の相談、あっせん業務、キラキラフェスタあしべつ開催など多岐にわたる業績とともに輝かしい歴史と伝統を保持され、今後におきましても、貴会議所の役割は益々重く、その期待も大なるものがあります。

現下、本市におきましては、少子高齢化の進展や人口の減少、地域経済規模の縮小などの大きな波に直面しておりますが、これを乗り切る上でも、特に商工業振興の基盤となる国道 452 号の整備促進や企業誘致の推進等に加え、市内事業者や従業員の皆様への各種支援制度の充実にも努めながら、持続可能なまちづくりに向け、引き続き貴会議所と連携を深め、各種施策を推進してまいり所存であり、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、この度の輝かしき節目を契機に、貴会議所が地域経済のけん引役として更なる本市の商工業の発展とその使命達成のため邁進くださることを熱望いたしますとともに、会頭をはじめ会員の皆様のご健勝と益々のご活躍をご祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。



## 芦別商工会議所 創立70周年に寄せて

北海道知事

鈴木直道

芦別商工会議所が創立70周年の節目を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴商工会議所におかれましては、昭和27年の設立以来、地域の中小・小規模企業の支援はもとより、芦別を代表するイベントである「キラキラ☆フェスタあしべつ」の開催や、「星の降る里あしべつ」のPRに向けたフォトコンテストの実施、地元消費の活性化を目的とした地域限定商品券「どんぐり」の発行や芦別市の就職支援サイト「芦別しごとナビ」の運営など、商工業の振興や地域イベントの開催を通じて、芦別市の活性化に積極的に取り組まれ、地域づくりの中心的な担い手として、大きな役割を果たしてこられました。

これもひとえに、坂田会頭をはじめ、歴代の役員や会員の皆様による、地域の発展に寄せた並々ならぬ熱意とたゆまぬご努力の賜物であり、これまでのご尽力に深く敬意を表します。

本道経済は、人口減少等に伴う消費の低迷や幅広い分野での人手不足、中小・小規模企業の後継者不足といった課題を抱えており、さらに、新型コロナウイルス感染症の流行が私たちの暮らしや経済に大きな影響を及ぼし、デジタル化や脱炭素化、国際的なサプライチェーンの再編など社会全体に大きな変革をもたらす動きに的確に対応することが求められる中、ふるさと芦別がその魅力を一層高め、持続的に発展していくためには、地域に根ざした様々な活動に取り組まれている貴会議所の果たす役割はますます重要になっていくものと考えます。

道といたしましては、感染症により大きな影響を受けている本道経済の再活性化に向け、ウィズコロナの長期化に備えた中小・小規模企業の維持・継続に万全を期すとともに、ポストコロナを見据えた新たな社会経済の変化への対応力強化や人材の育成・確保などに取り組んでまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、芦別商工会議所が、創立70周年を契機として、ますますご発展されるとともに、会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



## 祝 辞

日本商工会議所

会頭 三村明夫

芦別商工会議所が創立70周年を迎えられますことを、心よりお祝い申し上げます。

昭和27年の創立以来、常に地域のリーダーとして、商工業の振興や地域経済社会の発展に大きく貢献してこられました。これも偏に、歴代、および現在の役員・議員・会員、そして職員の皆様の弛まぬご尽力の賜物と存じ、深く敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、昨年来より、様々な要素が重なり資源価格の高騰が顕在化していたところに、ロシアのウクライナ侵攻、円安、米国FRBの利上げ等も重なり、多くの中小企業、そして地域経済に大きな影響が及んでいます。

しかしながら、これらの出来事は我々が多くのことを学ぶきっかけにもなりました。何より、日本を再構築し、強くて豊かな日本を作り上げていかなければならないという危機意識が共有されました。今後は、企業も、商工会議所も、こうした大きな環境変化に対応し、覚悟をもって自己変革に挑戦していかなければなりません。

こうした中、芦別商工会議所では、厳しい経営環境にある企業に対する親身な相談対応はもちろん、地元の消費拡大を通じて地域経済活性化、地場商工業振興に繋げることを目的として、地域限定商品券「どんぐり」を発行・販売されているほか、市が実施する「芦別市市民生活応援商品券」事業を受託されるなど、様々な観点から地域経済の好循環の実現に向けた活動を積極的に展開されておられます。また、新規学卒者の地元企業への就職を支援するため、オンラインを駆使して実施されている「企業説明会」や「企業見学会」などは、まさに将来の芦別地域を担う人材確保に資する取り組みであり、誠に心強い限りです。今後も、商工会議所が地域の中核となって、地域の一層の発展に向けて大きな役割を果たされますことを期待しております。

日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、未来に向けて新たな歩みを進めていく決意を胸に、新しい時代を皆様とともに切り拓いてまいりたいと思います。

芦別商工会議所におかれましては、創立70周年を新たな出発点として坂田会頭の力強いリーダーシップのもと、より一層結束を深められ、積極的な活動の展開により、コロナ禍からの復興、そしてさらに豊かで活力ある地域が創造されますことを衷心よりご期待申し上げます。

## 歴代会頭



### 創立70周年を祝して

一般社団法人 北海道商工会議所連合会  
会頭 **岩田 圭剛**

芦別商工会議所創立70周年を、心からお祝い申し上げます。

芦別商工会議所は、昭和27年創立以来、昭和、平成、令和と時代が変遷する中、幾多の困難を乗り越え、空知における中枢商工会議所として確固たる基盤を築いてこられました。

これも偏に、坂田会頭をはじめ、歴代会頭・役職員皆様方のたゆまざるご努力、そして会員企業の皆様方より寄せられました不断のご支援・ご協力の賜物と、深く敬意を表する次第であります。

芦別市は「星の降る里」として知られております。

貴所では、「星の降る里 あしべつフォトコンテスト」の入賞作品を用いた「星の降る里 芦別カレンダー」を制作し、芦別の自然や風景、食やイベントといった地元の魅力を町内外に発信を続けてこられております。

また、人口減少等、厳しい状態にある地域経済の活性化に資するべく、日常のお買い物のほか各種イベントの景品や贈答等に幅広く利用可能な芦別市地域限定商品券「どんぐり」を通年で販売するなど、地域実情に即した活動を積極的に展開されておられます。

新型コロナウイルス感染症に際しては、経営相談窓口の強化はもとより、例年開催の「キラキラ☆フェスタあしべつ」が中止に追い込まれると、代替として即座に貴所主催による「あしべつサプライズ花火」を企画し、先行きに不安感を抱く市民に笑顔を届けるなど、時宜にかなった地域活性化に向けての飽くなき行動力は高く評価されております。

私共、商工会議所は、地域経済の再生を1日も早く実現させるべく、中小・小規模事業者に寄り添った取り組みを加速させ、ウィズコロナ、アフターコロナの時代に即した新しい生活様式や働き方改革など、社会経済の大転換期へも的確に対応していくことが求められております。

北海道商工会議所連合会といたしましても、現下の苦境から反転攻勢に転じ、再び北海道経済をしっかりとした成長軌道に乗せるよう、鋭意、取り組んで参りますので、引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、創立70周年を契機に、商工業者相互の信頼と団結を一層強固なものとなされ、「行動する商工会議所」の決意も新たに、地域に寄り添い、社会・経済的役割を十分に果たされ、芦別市の経済発展に大きく寄与・貢献されますことを心からご期待申し上げ、記念誌発刊に当たってのお祝いの言葉といたします。



初代会頭  
**大西 駒太郎**  
自 昭和27年3月  
至 昭和29年1月



二代会頭  
**村上 力造**  
自 昭和29年2月  
至 昭和38年12月



三代会頭  
**坂田 憲**  
(代行) 昭和38年12月～昭和39年9月  
自 昭和39年10月  
至 昭和50年12月



四代会頭  
**北橋 秀之**  
(代行) 昭和50年12月～昭和51年9月  
自 昭和51年10月  
至 昭和60年9月



五代会頭  
**沖本 辰夫**  
自 昭和60年10月  
至 平成9年9月



六代会頭  
**熊谷 源吉**  
自 平成9年10月  
至 平成18年1月



七代会頭  
**高瀬 敏光**  
(代行) 平成18年1月～平成18年2月  
自 平成18年3月  
至 平成19年10月



八代会頭  
**瀧澤 量久**  
自 平成19年11月  
至 平成22年10月